

私、滋賀に「移住」しました。

加藤美花さん（大津市在住 35歳 女性 主婦）

加藤美花さんは、愛媛出身の夫、5歳になる長女、10ヶ月になる長男の4人暮らし。美花さんは京都市内の企業に勤めていますが、夫の職場が滋賀県内にあることから、結婚と長女の出産を機に大津の新興住宅地に引っ越ししました。

美花さんは県外（関西）のとある市の生まれ。学生時代まで住んでいたその地域は、常にお互いが見えすぎて、自分が地域のなかでどう見られるかを意識しあうようなコミュニティでした。地元の人々の噂話も耳にするのが日常だった美花さんは、そんな地域の人間関係にほんやり違和感を感じながら過ごしていました。その反動で、高校～大学は京都・大阪といった都会の方へと進学します。



そんな美花さんが結婚して滋賀に引っ越した大きな動機の一つが、その地域の人々が「お互いがほどよい距離感で生きている」と感じたことでした。生まれ故郷と違って、お互いに興味を持つこともないし、噂話をするのもない。自分達の価値観に邪魔されず、綺麗な家に住み、綺麗な服を着て、働きに出る、そういった生き方ができる街だと感じたのです。そして適度に自然を感じることでできる滋賀は、建物や人で溢れかえる都会の空気に疲れるようなこともなく、これから生まれる子どもに安心して育ててもらうことができそう…。いわば地方や都会からの「移住」のような気持ちで一軒家を購入しました。

現在は育児休暇中で、一日のほとんどを子供たちと一緒に過ごしています。普段は家の中ですが、時々子供と一緒に近所の公園に出かけ、遠くに見える琵琶湖の景色を見ながらリラックスしています。新興住宅地なので自分と同じ世代の親子に公園で時々会うことがあります。お互い同じ価値観・距離感を望んでいるものだと思うから、さほど人間関係が気になりになることもありません。この街は、そんな気持ちで子供たちと一緒に過ごすことのできる、貴重な空間なのです。

程よい自然、程よい人間関係。そして大切な子供。
そんな空間が美花さんにとっては貴重。

周囲の家族とは
あいさつはするけど
べったりとは付き合わない。

夫の職場は滋賀県内だけど
転勤で単身赴任する可能性
もある。でも滋賀なら交通の便
もよく、何かあっても安心だろ
うという気持ちが夫婦の間で共有
できている。



休日は手を繋いで公園へ出かける日も。
ショッピングモールへ行く日もある。